

景況調査

(平成28年7月～9月期)

平成28年7月～9月期の守山企業景況調査の結果は、次の通りである。調査結果はDI指数(景気動向指数)を用いて示している。

平成28年7月～9月期の調査結果では、売上高、業況、採算、資金繰りの主要4指標で前回調査より数値が低下した。

〈業況〉

業況DIは▲25.4で前回調査の▲21.9から3.5ポイント低下した。業種別では、小売業▲36.8(前回調査比▲19.2)、製造業▲7.7(前回調査比+17.3)、建設業▲36.4(前回調査比▲18.2)、サービス業▲16.7(前回調査比+11.1)、卸売業▲33.3(前回調査比▲16.6)と製造業、サービス業が上昇した。

〈売上高〉

売上高DIは▲31.3で前回調査より12.8ポイント低下した。業種別では、小売業▲42.1(前回調査比▲42.1)、製造業▲15.4(前回調査比▲23.1)、建設業▲18.2(前回調査比+1.8)、サービス業▲38.9(前回調査比+11.1)、卸売業▲33.3(前回調査比±0.0)であり、小売業、製造業の低下とそれ以外の業種の上昇または横ばいという構図になった。

10月～12月期見通しは全体で▲27.3となっており、わずかに改善の見込である。

〈採算(経常利益)〉

採算(経常利益)DIは▲26.9で前回調査より2.3ポイント低下した。業種別では、小売業▲42.1(前回調査比▲14.3)、製造業±0.0(前回調査比+8.3)、建設業▲18.2(前回調査比±0.0)、サービス業▲33.3(前回調査比±0.0)、卸売業▲33.3(前

調査比±0.0)で製造業が上昇している。

10月～12月期見通しは全体で▲29.2であり、今回調査実績から低下している。

〈資金繰り〉

資金繰りDIは▲22.4で前回調査より17.2ポイント低下した。業種別では小売業▲36.8(前回調査比▲30.5)、製造業▲11.1(前回調査比▲11.1)、建設業▲30.0(前回調査比▲30.0)、サービス業▲14.3(前回調査比▲1.0)、卸売業0.0(前回調査比±0.0)であった。

10月～12月期見通しは全体で0.0であり、今回調査実績から上昇している。

〈その他の意見〉

これからは、守山市北部先端地区から守山市の中心に向かって誰もが来て良かった、奇麗で便利な守山市になるようにしていただきたい。
・インターネットの発達は商業(路面型)を根絶すると思う。政府の思いがインフレ(デフレ脱却)指向ならインターネット商法に規制をかけるべきである。

